

# カメラがとらえた久留米の100年

## 町のにぎわい



夜の明治通り・久留米市場付近 (昭和10年頃)

上にWELCOMEとある久留米市場のネオンは右写真の夜景。右に菓子の「古賀庄」、[宗野時計店]の丸いネオンがある。



明治通りと久留米市場 (昭和12年)

日吉町路上の市場のネオン看板は左に入口を示す。手前左に本町1丁目角の大石喜楽堂書店が見える。この市場は昭和6年から、公設市場移転跡をうけて私設で営まれていた。



娯楽の王座は映画館(昭和初期)

当時は東町に友楽館(旧ライオン館)、西町尾関町に太陽館、日吉町に旭館・映画倶楽部・聚楽座が歓楽街の中にあつた。九州医専生の姿が見え、看板は、「西部戦線異常なし」。



戦時中の映画館 (昭和17年ごろ)

戦争真只中にも慰安を求めた。和服・モンペ姿の婦人もみえる。



あけぼの商店街で (昭和26年)

ヤミ市時期を終え、市内各所に商店街ができた。21年12月開店のあけぼの商店街は、29年には129軒と市内最大の商店街へ。中央部の六角堂が名物だった。



青空の一番街 (昭和45年)

西鉄駅前から六ツ門通りに至るひなびた古道は、戦災後姿を一変。西鉄通り、一番街へと発展もめざましく、45年8月アーケード完成。



KBC久留米で誕生し放送開始 (昭和29年1月)

民放九州朝日放送を設立。デパート旭屋内に開局29年1月1日からラジオ放送を開始した。

## 交通網整う



明治通りの拡幅(昭和25年)

ようやく戦災復興事業で明治通りは10メートル拡幅に着手された。中央に往時の道路を語る電柱が並ぶ。



本町ロータリー (昭和30年)

昭和29年、本町通り・小頭町通り・三本松公園通りが明治通りと交叉する位置に設置されたが、同42年、交通事情から撤去された。



復興した明治通り (昭和40年)

六ツ門より西を望む。青年会議所が募金して植えた植えた銀杏並木も稚木。すっかり道路拡幅も完了し町並も整っている。



混雑する十字路 (昭和43年)

国道3号線と210号線が交わり、加えて西鉄電車が斜行する。混雑・踏切は名物に近かった。昭和41年駅の解体から西鉄高架化が着手。44年に完成した。



水銀灯点る (昭和46年)

「パールライン」の愛称で呼ばれた明治通りの水銀灯。車の数も少ない頃。東町方面から西方を見る。



現在の西鉄久留米駅

西鉄久留米駅



戦後改築の西鉄駅(昭和25年)

現在では久留米市の表玄関として繁華な西鉄駅辺りも40年代以前はこんな静かな風景があつた。



西鉄大牟田線の高架化 (昭和42年)

交通のネックだった西鉄前、踏切も名物だった。すでに線路のつけかえがされているが、高架化の完成は44年3月。8年に及ぶ工事だった。

## 九州鉄道



開通間もない九鉄久留米駅 (大正末)

九州鉄道により大正13年、福岡・久留米間に電車が走り、「急行電車」と称され、55分で走った。運賃64銭。駅前に流行の乗合自動車(フォード)、急ぎ足の袴姿の女学生。



久留米駅プラットホーム(昭和7年)

東側からの写真でレールは福岡方面へのもの。この年の末、津福駅ができる。

久留米

# 昭和のなつかしマップ

本町にロータリーがあつた!?

昔が一番街商店街も青空が見えていた!?

娯楽の王座は映画館だった!?



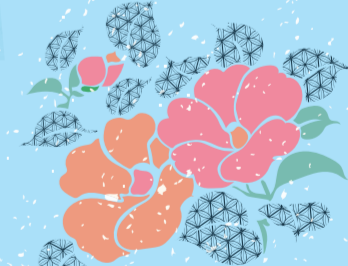
「昭和の

なつかしマップ」を片手に

昔と今を比べながら

久留米のまちなかを

巡ってみませんか?



昭和32年の久留米の商店街界隈の

地図を復刻しました。

久留米市住宅詳細図(昭和32年8月30日発行) 久留米市教育委員会蔵